

岩手県職労

月2回刊=1572号
2021年1月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

2021 賃金・職場改善のスタートは春闘期から

コロナ禍に負けず運動構築を

2020確定闘争では、月例給・一時金の水準維持とともに、コロナ禍での結婚休暇の取得期間の特例、会計年度任用職員の病気休暇の有給化が実現できた。一方、諸手当改善や人員確保、超過勤務課題等は継続課題のまま。コロナ禍での厳しい職場実態が続くなか、春闘を迎える。要求スタートは春闘期から。主要課題を確認し、春闘期に結集しよう。

①賃金課題

今年度は月例給・一時金ともに水準を維持することができた。しかし、コロナ禍が長期化し、経済情勢や財政が一層深刻となる中、厳しい局面も想定される。生活給の改善と勤務意欲確保に向けて継続して維持改善を求めよう。中高年齢職員への対策も課題。確定闘争では主幹任用拡大、勤勉手当の運用上の工夫に取り組みとしているが、これだけでは不十分。昇給・昇格運用の一層の改善を求め、また、専門職種の処遇改善も重要な課題だ。討との姿勢を示すも、導入

②諸手当・赴任旅費

確定闘争では、通勤手当は遠距離通勤者の負担軽減に資すること、費用弁償の観点から課題と認識を引き出すも、具体的な改善となっていない。住居手当も同様だ。赴任旅費は、当局は国が導入した移転料に係る実費支給方式を含めて検討との姿勢を示すも、導入

時の課題（不利となるケース）が生じる懸念もあり、継続交渉課題となっている。負担緩和前提の納付できる制度を求めていく。

未転倒。満額支給はもとより、要員確保を含めた是正策こそ必要だ。

④会計年度任用職員

職場で必要となる任用数の確保が課題だ。2021予算編成が大詰めのため、必要な予算確保ができるかが課題。任用数の内示を踏まえ、人員不足の実態を改めて集約し、改善要求を進めていかなければならない。

2021春闘で改善を

自治労県本部春闘アンケートの集約では、人員不足を中心に組合員に切実な声が多く挙げられている。県職労は春闘方針確立に向け取り組みを進める。要求実現には組合員の数多くの切実な声が不可欠。2021春闘に結集しよう。

例年より寒い年越しを迎えた。さらにコロナ感染対策に気を遣いながら年を越すこととなったため、いつもは当たり前のよう前のように開催できなかった新年会等が見送られるなど新年を祝うムードにはならない複雑な年明けとなった▼公務運営は年末年始がない。コロナ対策はもとより、年末大寒波の除雪対応なども重なり、休めなかった職員も少なくない。全国各地で同様の課題を抱える。改めて職場で必要な人員を確保することが大事だ。現体制で何とか切り抜ける、業務の効率化などの小手先の対策では難局を乗り越えることができない▼年末年始、コロナ感染が深刻度を増すなか、菅政権は一人ひとりの感染予防対策の徹底を呼び掛け、「自助」を促してきた。しかし、感染発生から間もなく1年が過ぎようとするなか、それも限界に。自助では感染を克服することができないことは明らかだ▼自助を促して国民生活を窮地に追い込む政権を許してよいのか、憲法理念を生かした「公助」による手厚い支援を進める政治に変えるべきか審判の年。労組として公助を担える組織の実現とともに、政治の有り様も変える一年としていこう。

2020確定闘争の到達点（主要交渉事項）

- (1)月例給・一時金（水準維持・成果）
月例給・一時金ともに公民比較の結果、水準維持が適当と判断。他県では一時金を中心に軒並み引き下げとなるなか、水準維持実現は組合員の結集の成果。
- (2)諸手当改善（継続課題）
・高速道路利用の手当改善、パーク＆ライド（駐車場料金の手当対象）は、長距離通勤者の負担軽減に資するが、実費弁償の観点から課題があり、課題意識を持ち人事委員会と意見交換を重ねるとの回答引出す（継続課題）。
・住居手当改善は人事委員会や他県の動向を注視（継続課題）。
・赴任旅費改善は、今年度導入された移転料に係る国の実費支給方式の導入可否を含めて検討との姿勢を確認するも、実費支給方式時の課題も山積（不利益となる事案、事務負担増大の課題等）しており、自己負担緩和とともに、職員に不利益が生じない制度とするよう申し入れ（継続課題）。
- (3)専門職種処遇改善
給与面の改善は国・他県動向を踏まえ検討（継続課題）
- (4)休暇制度拡充（一部改善）
不妊治療への支援策は国の動向や、他県の支援策を踏まえ検討（継続課題）。
コロナ禍における結婚休暇の取得期間の特例措置、会計年度任用職員の病気休暇の有給化の実現（成果）、キャリアアップ休暇は継続課題に。※詳細は別掲
- (5)高齢層職員の処遇改善
主幹任用の拡大や勤勉手当の運用上の工夫を継続（継続課題）。昇給・昇格運用改善を含めて要望をし、今年4月に向けて取り組み強化が必要。
- (6)人員確保
・欠員解消に向けた決意示すも、具体的な欠員解消見通しを示さず。他県応援職員や任期付職員等の確保などあらゆる手段で人材確保に努める（継続課題）。
・育休代替職員の確保につき、育休代替職員に係る定数を拡充。専門職の配置も農学等の一部職種で確保を進める（継続課題）。
・職場に必要な会計年度任用職員の任用数確保を訴えるも、改善姿勢が乏しい回答に終始。2021予算編成に当たり現場課題を踏まえた任用配置を求めた（継続課題）。
- (7)超過勤務課題
・業務縮減や見直しを職場に求めるも現場に責任を押し付ける姿勢は許されず、要員確保を含めた対策を求めた（継続課題）。
・12月補正で超勤予算を補正措置（1.2億円）も、現場では必要な超勤予算が不足との実態も。超勤満額支給を求めていく（継続課題）。
- (8)住環境確保
・沿岸部の仮設公舎撤去に伴う転居費用は入居経緯等の個別事情を踏まえ判断（継続課題）⇒年度末に向けて具体的な改善となるよう交渉継続中。
・既存公舎の整備、借り上げ公舎による住居確保を求めた（継続課題）。

2021年 各支部「旗開き」で始動

各支部旗開きが1月4日（月）の花巻支部を皮切りに開催。各支部ではコロナ感染症対策を講じつつ、工夫をしながら取り組みを進めた。2021年の運動前進に向けて意思統一をし、当面する春闘勝利に向けて全力で取り組む。



▲花巻支部旗開き（1/4）



▲一関支部旗開き（1/6）



▲花巻支部（遠野分庁）旗開き（1/6）



▲久慈支部旗開き（1/6）



▲気仙支部旗開き（1/6）



▲一関支部（千厩分庁舎）旗開き（1/8）

病気休暇の有給化を実現 会計年度職員の切実な要求実現

2020確定闘争の結果、ケガ等）は1会計年度において5日の範囲内で必要と認められる期間となる（時間単位でも取得が可能。時間数は1日の勤務時間で換算となる）。要求・交渉を重ね、かつ多くの組合員が結集した成果といえる。

結婚休暇取得期間の特例措置も実現

コロナ禍での結婚休暇の取得期間の特例も実現した。適用日は2020年2月1日に遡及し、結婚の日から7日間の日から2022年3月末までの取得可能期間となる（従前は結婚した日から最長1年間）。この

12.25 農林水産部交渉

普及職 研究部門

作目別複数配置は最大限努力 改善姿勢も拡充は継続課題に

12月25日、農業改良普及、各試験研究機関（農業・林業・水産）、農業大



▲要請書を手渡す千葉(美)中央執行委員(中央)

①普及部門 職員定数増には厳しい面もあるが、作目別の複数人配置は普及センター単位で



▲交渉に臨む県職労交渉団

ト農業等の技術革新や、他分野から普及業務に復職した場合の研修強化に向け、



▲回答する大畑農林水産企画室長(手前中央)

環境整備に関し、公用車は一定数の更新を計画的に実施、検査機器類の更新は

③農業研究部門 必要な人員配置は努力す

⑤水技センター・内水面 主要魚種の不漁が続くな

⑥家畜保健衛生所 から小型船舶資格取得等の

工夫を重ねること、処遇改善は総務部に申し入れし、

環境整備、昼休みの選択制は利用実績が乏しく検証

12.24 県土整備部交渉

改善に向け本庁各課と共有 被服貸与・人事課へ要望 会計年度職員・震災前を維持

県職労土木関係職員協議会は、今年度も県土整備部



▲要請書を手渡す口岩土木協務局長(左)

意見等とりまとめ、県土整備部長あて要請書を作成



▲交渉に臨む県職労・土木職場代表

備企画室長に手交。基本姿勢を確認した。

①職員体制・適正配置 人員配置について、全国的に頻発化、激甚化する自

増員し、震災前と同水準の100人程度を確保。各所

④執務環境整備 管理課職員への被服貸与

②人員配置(8割以上が人員不足と感じている) ③長

改めてコミュニケーションの大切さを認識してもらう

ことを学んだ。行動を脳の働くと捉えることで下手に

②計画的採用と処遇改善 計画的採用について、中

堅職員不足により、若手育成への影響、精神疾患、逸材不足など重大な課題とな

また、建築職の一級建築士取得に係る費用負担解消

県庁支部でも、新型コロナウイルス感染症の影響で

③新入組合員からの感想 思考パターンや態度等に

個人差もあると思うが、男女で考え方に差異がある

▲三二講演会のようす

盛岡局長 相互に協力して職場改善に努める 盛岡支部・盛岡広域局長に要求書提出

盛岡支部(支部長・長沼英友・盛岡土木部分会)で

要求項目は、①労働環境及び公舎等の整備(盛岡支

▲要求書を手渡す長沼盛岡支部長(右)

▲交渉団に基本姿勢を示す泉盛岡広域振興局長(奥中央)

県庁支部(新採用加入対策)

三二講演会を開催

～異性間コミュニケーション～

【新入組合員からの感想】 思考パターンや態度等に

▲三二講演会のようす